

施策番号 5-1-2	施策名 住民自治の実現と地域の活力の維持	基本目標	住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり			
		政策名	多くの町民が関わり参加する自治のまちづくり			
	主管課	魅力創造課	課長名	西田昌樹	内線	231
	施策関係課	政策推進課・総務課・都市経営課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図				結果
地域の活力を維持し、住民自治を実現させ、より良い地域づくりをすすめます。		町民 町に愛着や誇りを持ち係る人		・町に愛着や誇りを持ち、地域のために活動する				まちづくりに係る人が増えることで地域の活力を維持する
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度目標	
① 地域の活動に参加している町民の割合	住民意識調査	%	45.7	49.2	40.0	38.8	55.0	
② 芽室町が好きな町民の割合	住民意識調査	%	96.8	93.0	92.6	94.3	95.0%以上	
③ 芽室町に住み続けたいと思う町民の割合	住民意識調査	%	95.8	94.4	92.9	94.6	95.0%以上	
④								
成果指標設定の考え方	①策定時の値+10ポイントを目標に設定した。 ②策定時の値が非常に高いことから、その値を維持することを目標とした。(※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更) ③策定時の値が非常に高いことから、その値を維持することを目標とした。							

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算	2021年度決算
施策事業費(千円)	132,594	121,376	172,002	265,189
人工数(業務量)	1.9393	3.2380	2.8791	3.0255

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2021年度の成果評価	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	コロナ禍により①の活動低下、それに伴って②③は昨年よりも上昇したものの、策定時よりは低い値になっている。
②2022年度の目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	コロナ禍による多くの事業の停滞により、①についてはこのまま今後も下っていく傾向にあると思われる。②③は昨今の芽室町の新たな動きに対する期待値の表れと考え、今後は具体的な成果を出し、目標値達成を目指す。
(2) 施策の成果評価に対する2021年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	シティプロモーション推進事業 町民活動支援センター運営事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	事業全体を通してコロナ禍において、町民の方との対面した協働の機会ほとんど失われ、必要最低限の活動が多く、結果として成果は低下している状況にある。 その中にありながら、町民活動を停滞することなく、各種のサポート、町民からの声の聞き取り、ファシリテーター養成事業など、町民活動支援センターで実践した成果は大きい。 また、町の新たな動きを内外に効果的に情報発信したシティプロモーション事業は、町民からの期待を高めるもの、意識の向上につながったと考える。 コミュニティ活動の活性化に関しては、町内会連合会拠点の配置をしたことから、今後のコミュニティ活動の活性化を推進していく。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果							
担当課 評価	成果指標による数値は下がっているものの、コロナ禍において活動を停滞させない従前とは異なる手法を積極的に取り入れ・実践し、その結果として成果指標②③における意識の向上を図れたことは前進していると判断する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	

A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した
D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>《施策を取り巻く状況》 人口減少が進むなかで、住民自治の重要性はますます高くなっているが、個人の意識や考え方の多様化が進む中、地域活動や集団活動を好まない人たちが増え、コロナ禍においてはますますその拍車がかかっている。</p> <p>《今後の予測》 コロナ禍をきっかけに集団活動を避け、個人活動を好む傾向が強まることが想定されるが、住民による郷土愛を育てていくことが、最終的には住民自治の実現と地域の活力維持につながると考えられることから、町民活動の核となる町内会活動及び町民活動支援センターと町の協働により、自治のまちづくりの基礎づくりを進めていく必要がある。併せて、住民参加のまちづくりにつながる事業に積極的に町民参加を促し、具体的な成果が出せるような仕組みづくりが必要と考える。</p>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の未加入世帯対策が必要である。・具体的な対策は何か。 ・地域集会施設については、地域間格差が生じないように取り進める必要がある。コミュニティ活動での使用が減免になることの積極的周知を。 ・シティブロモーションの考え方を理解してもらう必要がある。

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ活性化のため、市街地町内会連合会と町、町民活動支援センターが協働して課題解決に取り組む。 ・災害に強いまちづくり、地域活動の活性化を勘案した地域集会施設の再整備を継続して進める。 ・シティブロモーション計画に基づく事業推進は、町民の皆さんにその進捗や成果など知ってもらうための情報を見える化し、町民参加による各種事業においては随時参加者を募り、郷土愛、町民参加のまちづくりを進める。 ・町民参加のまちづくりを進めるためにファシリテーターの養成を継続、組織化を目指す。 ・まちなか再生においても常に住民参加を基本とし、住民自治のまちづくりの具現化を目指す。
--

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	成果指標等から、前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。自治活動支援については、町の取組を明確にしてください。	A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	担当課評価、庁内評価同様に、前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	地域福祉館は施設を減らしていく計画であるが、規模が小さくても必要ではないか。拠点が高野場にあつてこそ地域コミュニティが活性化するため、地域の声を良く聞いて丁寧に対応いただきたい。	A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した					